

学校教育目標 人権尊重の精神を基盤とし、予測困難な時代を他者と共に豊かに生き抜く児童の育成を目指す。「1、よく考え工夫して学ぶ子 1、心あたたかく助け合う子 1、すすんでからだづくりに取り組む子 ◎よりよい生き方を求め続ける子」

- 目指す学校像 保護者・地域との連携によって教育活動をすすめ、子供たちが主体的に学ぶことのできる学校
- 目指す児童像 互いを尊重し合い、礼儀正しく行動できる児童
- 目指す教師像 教育公務員としての自覚をもって研鑽に励み、実践的指導力を磨く教員

領域	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	取組指標	評価	成果指標	評価	分析コメント	改善策	学校関係者評価記入欄	評価
学力の向上	確かな学力の向上を目指し、言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力等学習の基盤となる資質・能力を育成する。	授業の改善・充実を図り、主体的に学習に取り組み、友達と協働して学びを深める児童を育成する。	主体的な学びを支える基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習熟を図る。	4 90%以上の指導場面で実施	3.4	4 単元ごとの習熟度テスト「知識・技能」の観点で90点以上が75%	3.3	昨年度の成果指標2.8より向上した。授業改善や昼の短時間学習、家庭学習が成果に結びついた。	次年度も授業改善、個別指導、タブレット端末の活用を組み合わせる基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習熟を図っていく。	・基礎基本はとても大切なこと。更なる向上を目指してほしい。	A
				3 80%以上の指導場面で実施		3 単元ごとの習熟度テスト「知識・技能」の観点で80点以上が85%					
				2 70%以上の指導場面で実施		2 単元ごとの習熟度テスト「知識・技能」の観点で70点以上が90%					
1 70%未満の指導場面で実施	1 単元ごとの習熟度テスト「知識・技能」の観点で70点未満が10%										
			授業形態の研究・改善を行い、課題解決力や協働して学ぶ態度を養う。	4 「課題解決学習もしくは協働学習が効果的な場面での実施率」80%以上	3.4	4 教師の90%以上が取組指標の3か4に○	4	従来通りのグループ学習が実施できるようになった。1人1台端末の活用も継続してきている。	次年度も継続	・制限がある中でも、グループで活動できるようになったことはとてもよかった。	A
3 「課題解決学習もしくは協働学習が効果的な場面での実施率」70%以上	3 教師の80%以上が取組指標の3か4に○										
2 「課題解決学習もしくは協働学習が効果的な場面での実施率」60%以上	2 教師の70%以上が取組指標の3か4に○										
1 「課題解決学習もしくは協働学習が効果的な場面での実施率」60%未満	1 教師の70%未満が取組指標の3か4に○										
			一人1台のタブレット端末を活用し、基礎基本の定着や主体的・協働的な学習の充実に役立てる。	4 一人1台タブレット端末 1日1回以上使用	2.8	4 教師の90%以上が取組指標の3か4に○	3	校内研究で1人1台端末の活用に取り組んだ。毎日の持ち帰りも始まり、故障や不具合端末への対応が課題。	次年度も継続	・端末不具合等の対応は大変だと思う。うまく使いこなせるようになるとうい。	A
3 一人1台タブレット端末 ほぼ毎日使用	3 教師の80%以上が取組指標の3か4に○										
2 一人1台タブレット端末 週3～4日程度の使用	2 教師の70%以上が取組指標の3か4に○										
1 一人1台タブレット端末 週3～4日未満の使用	1 教師の70%未満が取組指標の3か4に○										
豊かな心の育成	道徳教育の充実を図り、自他を大切に、他者とともによく生きようとする児童を育成する。	道徳教育の要である道徳科の授業実践を確実に、親切、思いやり「礼儀」を重点に、児童の道徳性を養う。	教科書を使い、別業に則った道徳の授業を計画的に行う。	4 年間4回以上、学年・ブロック・保護者等に授業を公開する。	3.1	4 教師の90%以上が取組指標の3か4に○	3	通常に近い授業公開が実施できた結果、昨年度の成果指標2より向上した。	次年度も計画に基づいて進めていく。	・成果向上に向けて、通常の授業公開ができるようになるとうい。	A
				3 年間3回以上、学年・ブロック・保護者等に授業を公開する。		3 教師の80%以上が取組指標の3か4に○					
				2 年間2回以上、学年・ブロック・保護者等に授業を公開する。		2 教師の70%以上が取組指標の3か4に○					
1 年間2回未満、学年・ブロック・保護者等に授業を公開する。	1 教師の70%未満が取組指標の3か4に○										
			児童の変容を見取るために、道徳科の授業での振り返りの記録を残す。	4 90%以上の指導場面で実施	3.7	3 「児童アンケート」で「道徳科の振り返り」肯定的評価90%以上	2	道徳教科書の振り返りを活用できたが、発言する児童は限られており肯定的評価は78.4%にとどまった。	道徳の授業での振り返りの場面で、指名方法を工夫し全員が学期に1回以上、自分の考えを発表できる場を設定する。	・皆が自分の意見を発表できる環境作りが大事。	B
3 80%以上の指導場面で実施	3 「児童アンケート」で「道徳科の振り返り」肯定的評価80%以上										
2 70%以上の指導場面で実施	2 「児童アンケート」で「道徳科の振り返り」肯定的評価70%以上										
1 70%未満の指導場面で実施	1 「児童アンケート」で「道徳科の振り返り」肯定的評価70%未満										
			全教育活動を通して、児童一人一人のよさに目を向けさせる。	4 ほぼ毎日実施	3.8	4 「児童アンケート」で「自分にはよいところがある」肯定的評価90%以上	2	肯定的評価76.5%。今年度は学校行事、連合行事等が通常に近い形で実施され活躍の場が増えたが、「自分のよいところ」の自覚にはつなげられていない。	児童相互の認め合いの場を増やし、自己肯定感を高める指導を工夫する。	・自己肯定感を高め、一人一人の多様性を認める活動、マイクロアクションの気付きを養う活動を取り入れてほしい。	B
3 週3～4日程度の実施	3 「児童アンケート」で「自分にはよいところがある」肯定的評価80%以上										
2 週2日程度の実施	2 「児童アンケート」で「自分にはよいところがある」肯定的評価70%以上										
1 週2日未満の実施	1 「児童アンケート」で「自分にはよいところがある」肯定的評価70%未満										
健やかな心と体の育成	豊かな体験活動を通して、運動習慣の確立や体力の向上を図り、健やかな心と体を育成する。	体育活動の充実を通して、運動に親しみとともに、体力の向上や健康の保持に関心をもつ児童を育てる。	体育科の授業の充実を図るとともに、月1回の体育朝会を計画的、組織的に実施し、体育的な活動への興味・関心を高める。	4 90%以上の指導場面で実施	3.1	4 「児童アンケート」で「体育的な活動が楽しい」肯定的評価90%以上	3	肯定的評価89.5%。新型スポーツデイや持久走記録会などの取組を通して、体育的な活動への興味・関心を高められた。	次年度も感染状況に対応しながら年間指導計画に基づき、学習を進めていく。	・心と体の育成には運動が大切。体力向上に力を入れてほしい。	A
				3 80%以上の指導場面で実施		3 「児童アンケート」で「体育的な活動が楽しい」肯定的評価80%以上					
				2 70%以上の指導場面で実施		2 「児童アンケート」で「体育的な活動が楽しい」肯定的評価70%以上					
1 70%未満の指導場面で実施	1 「児童アンケート」で「体育的な活動が楽しい」肯定的評価70%未満										
			いじめや問題行動の未然防止と早期対応を図るとともに、特別な支援を要する児童についても全校体制で対応する。	4 問題に対して90%以上で組織的な対応実施	3.7	4 「児童アンケート」で「友達と楽しく過ごしている」肯定的評価90%以上	4	肯定的評価は93.3%。毎週の生活指導夕会で児童の情報を共有することで、全校体制で対応することができた。	次年度も継続	・引き続き、早い段階での対応をお願いしたい。	A
3 問題に対して80%以上で組織的な対応実施	3 「児童アンケート」で「友達と楽しく過ごしている」肯定的評価80%以上										
2 問題に対して70%以上で組織的な対応実施	2 「児童アンケート」で「友達と楽しく過ごしている」肯定的評価70%以上										
1 問題に対して70%未満で組織的な対応実施	1 「児童アンケート」で「友達と楽しく過ごしている」肯定的評価70%未満										
信頼される学校	地域の絆を大切にしながら、地域・保護者との連携・協働を進め、信頼され、愛される学校作りを行う。教職員の資質・能力の向上に努め、健康でいきいきとやりがいをもって働く職場作りを行う。	情報を発信・共有・提案し、協力関係や信頼関係を築く。	・保護者・地域と必要な情報はこまめに連絡し共有する。	4 90%以上の必要な情報について実施	3.5	4 保護者アンケート「相談しやすい」でAが90%以上	3	保護者会、個人面談が予定どおり実施できた。スマまちを活用するなど、担任が細やかな連絡を心がけた。	次年度も継続	・信頼関係を大切にして、地域、保護者と共に成長してほしい。	A
				3 80%以上の必要な情報について実施		3 保護者アンケート「相談しやすい」でAが80%以上					
				2 70%以上の必要な情報について実施		2 保護者アンケート「相談しやすい」でAが70%以上					
1 70%未満の必要な情報について実施	1 保護者アンケート「相談しやすい」でAが70%未満										
			「台東区」を中心とした、地域資源を活用し、地域と連携した学習を推進する。	4 3単元以上計画	3.3	4 3単元以上実施	3.3	学びのキャンパスの取組等もあり、地域学習を計画よりプラスして実施できた学年があった。	次年度も年間指導計画に基づき、進めていく。	・町探検の学習で協力しているが、もっと地域を活用してもよい。	A
3 2単元以上計画	3 2単元以上実施										
2 1単元以上計画	2 1単元以上実施										
1 計画がない	1 計画がない										
			教職員が組織の中で責任をもって役割を果たし、計画的に実行する。	4 OJTやミニ研修等を年間12回以上行う。	2.9	4 教職員のアンケートで研修に対する満足度90%以上	4	作成した予定に基づき実施することができた。また必要に応じた短時間のミニ研修も実施できた。	次年度も年間指導計画に基づき、進めていく。	・引き続き、取組を続けてほしい。	A
3 OJTやミニ研修等を年間10回以上行う。	3 教職員のアンケートで研修に対する満足度80%以上										
2 OJTやミニ研修等を年間8回以上行う。	2 教職員のアンケートで研修に対する満足度70%以上										
1 OJTやミニ研修等を年間8回未満行う。	1 教職員のアンケートで研修に対する満足度70%未満										